

けやき大通り整備および利活用計画(案)

けやき大通りの再生のために、幅広い分野の委員で構成する「けやき大通り再生検討委員会」を設置し、広くご意見をお聞きしながら、検討しています。本計画(案)には、これまでの委員会で検討した代替案を含めた計画案について記載しております。

位置図



●計画の背景

けやき大通りの現状と課題

【交通状況】: 自転車・歩行者の交通量が多く混在

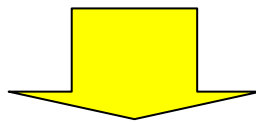
- 自転車・歩行者交通量は時間帯によって通勤・通学で多く混在
- 自動車交通量は平成6年をピークに減少傾向

【交通安全】: 側道を原因とした事故が多発

- 三木町交差点は県内でも有数の交通事故多発地点で、平成21年は16件の事故が発生し県下ワースト2位
- そのうち本線の左折車と側道の直進車による事故が多発
- 側道や歩道に違法な駐車・駐輪が多い

【沿道状況】: 空き店舗が目立ちにぎわいに欠ける

- JR和歌山駅付近では商業施設が多く、和歌山城付近では業務施設が多くなる
- ムクドリが多数飛来し、騒音や糞による被害がある



計画のコンセプト

1. 全ての人(歩行者、自転車、自動車)にやさしく

- 交差点での事故防止
- 歩行者・自転車通行の安全性・快適性の向上
- 公共交通の利便性の向上
- わかりやすい行先案内の表示
- 駐停車スペースの利便性向上

2. けやきを活用した景観の向上

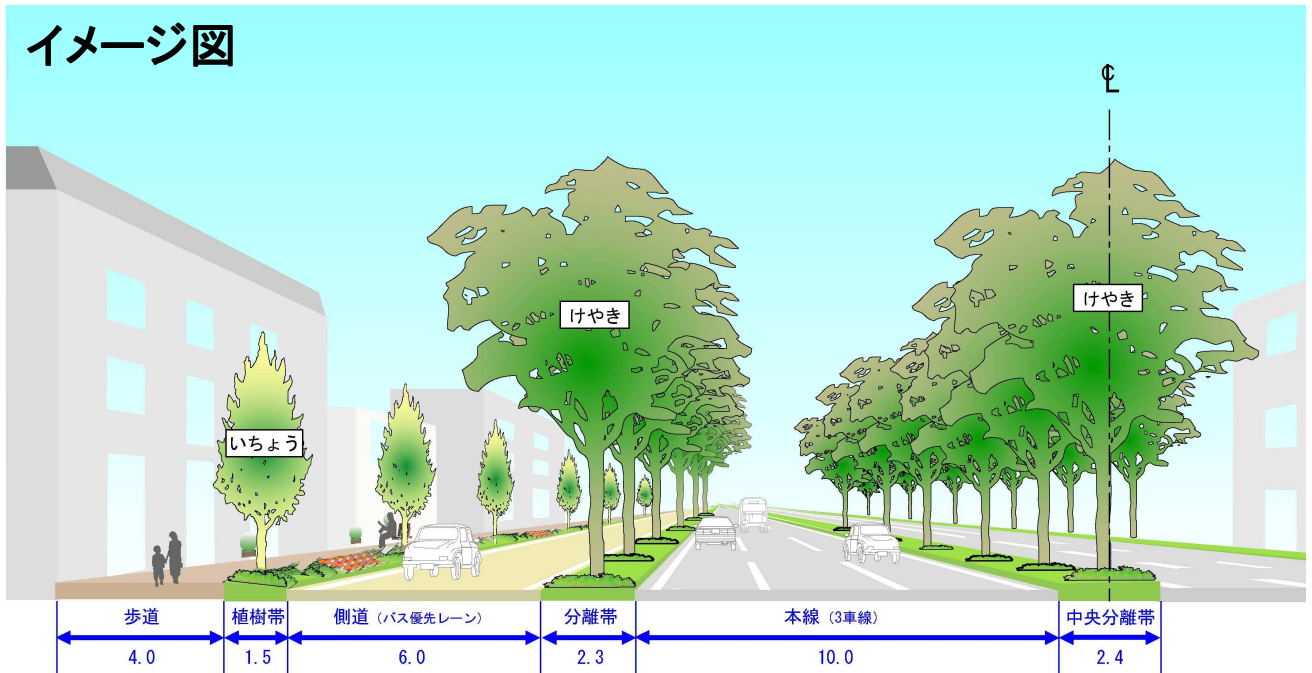
- けやき並木の保全
- けやき並木を活用した通りの魅力づくり

3. 憩い・にぎわいの場への寄与

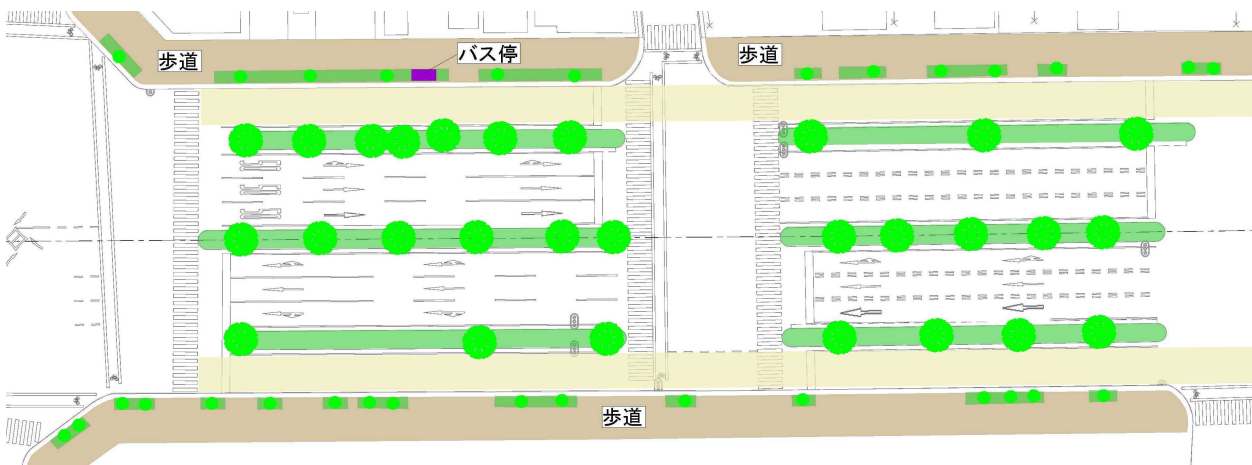
- 多様なイベント開催の場の提供
- 広い歩道や休憩場所の確保
- 和歌山城を活かした道づくり

現況

イメージ図



平面図



メリット

- ① けやき並木が良好な景観を形成
- ② 側道を利用することで、沿道利用や荷捌きが便利

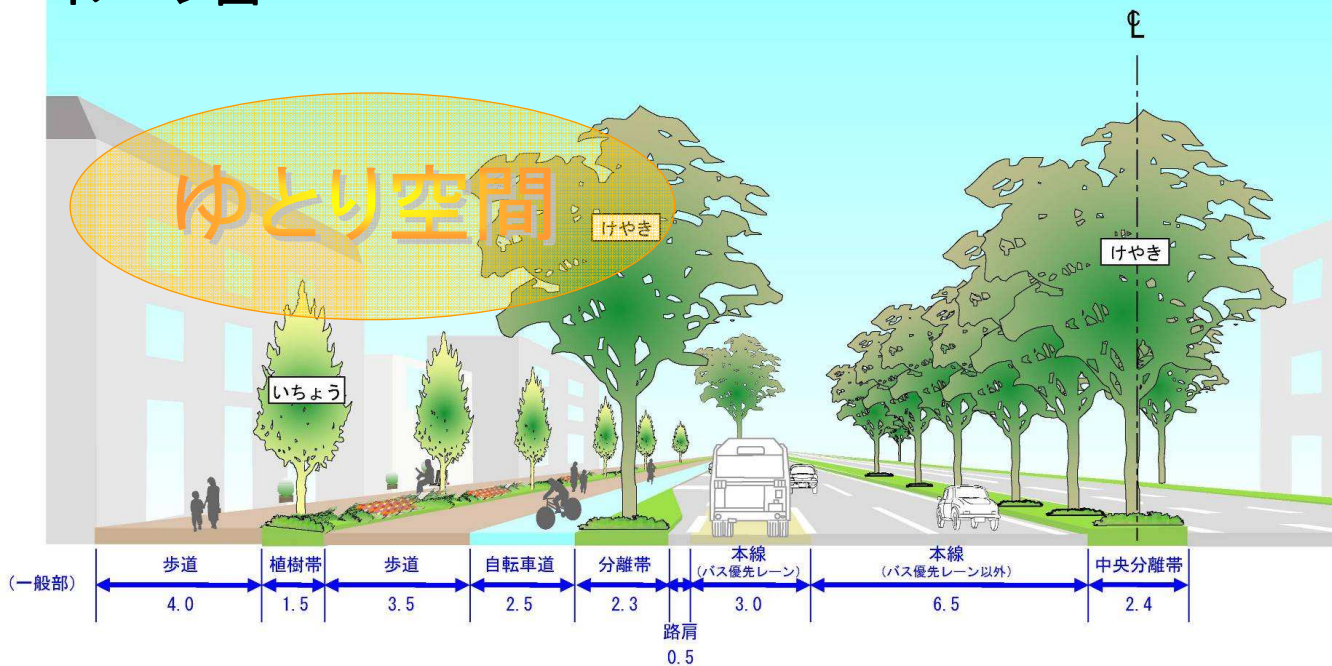
デメリット

- ① 側道に起因する事故が多発
- ② 憩い空間の確保が困難

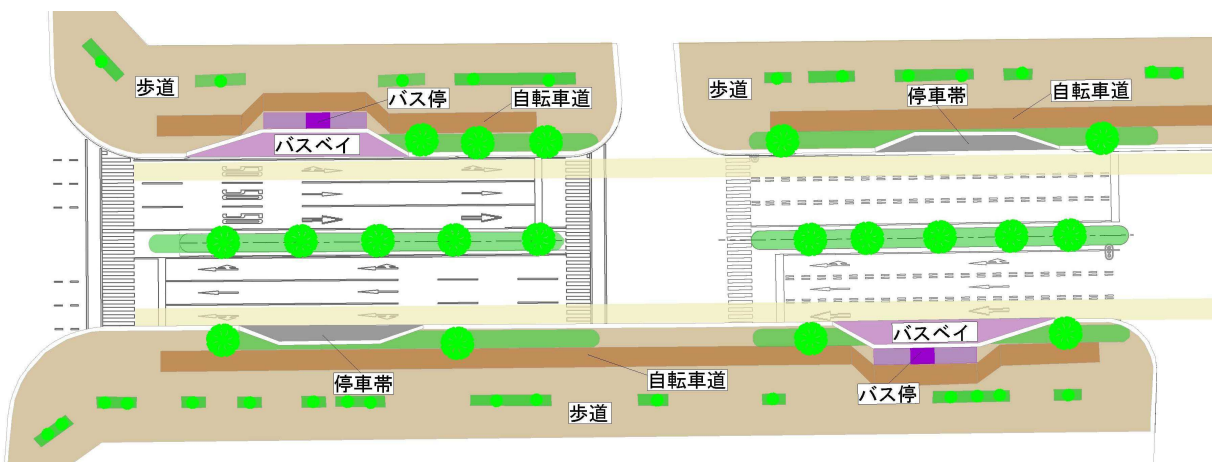
前回提示案

側道を廃止し、歩道を拡げ『ゆとり空間』とする

イメージ図



平面図



メリット

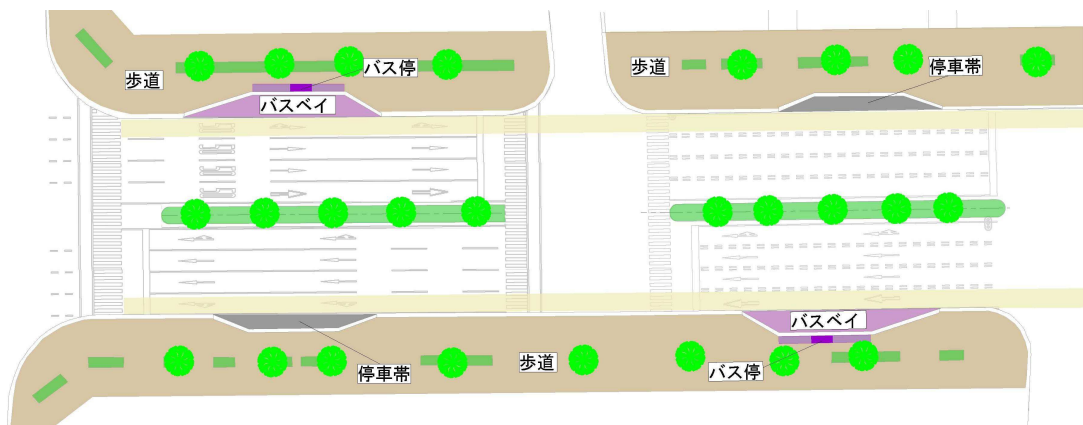
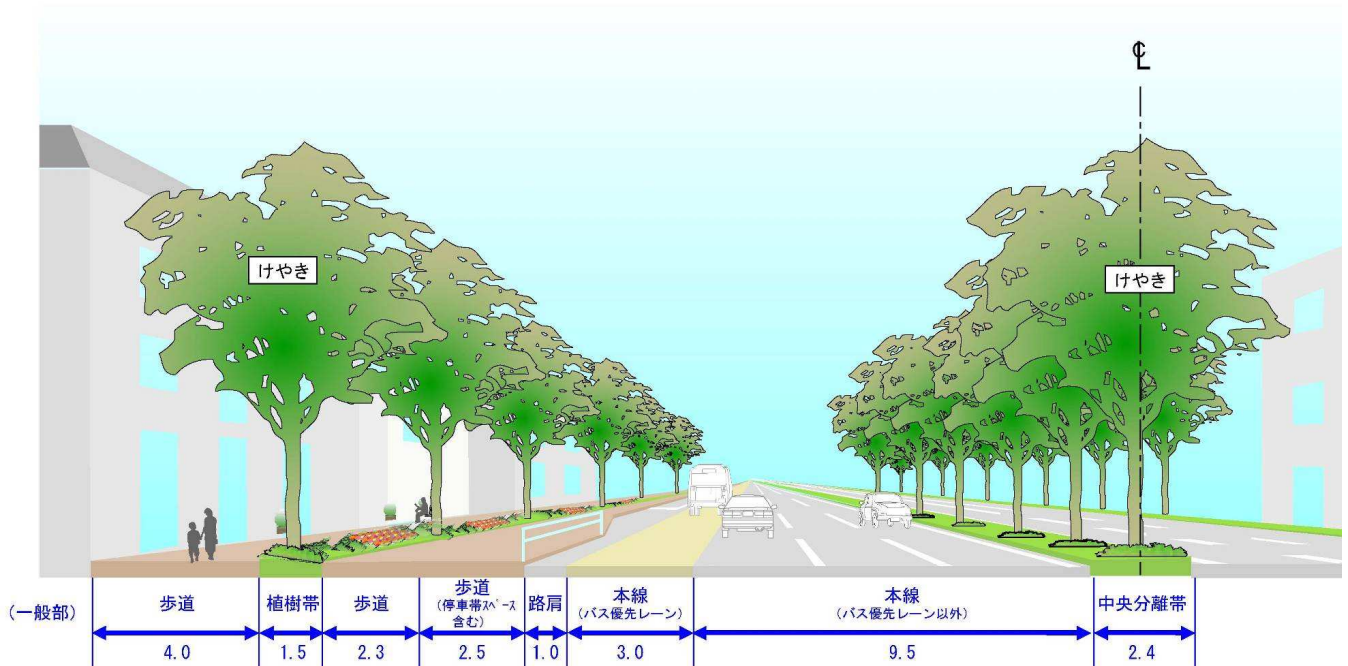
- ①『ゆとり空間』設置により、自転車歩行者を分離し、イベントへの有効利用可能な憩い空間の創出
- ②交差点での交通事故防止（横断距離の短縮・側道の廃止）

デメリット

- ①買物のための駐車や荷さばき等沿道利用者へのサービスが低下
- ②停車帯スペースやバスベイ部分のけやきの移植・撤去が必要

代替案1案

現況の駅前と同様の断面構成とする案



メリット

- ①交差点での交通事故防止
(横断距離の短縮・側道の廃止)
- ②前回提示案に劣るが、イベント利用可能な空間を創出

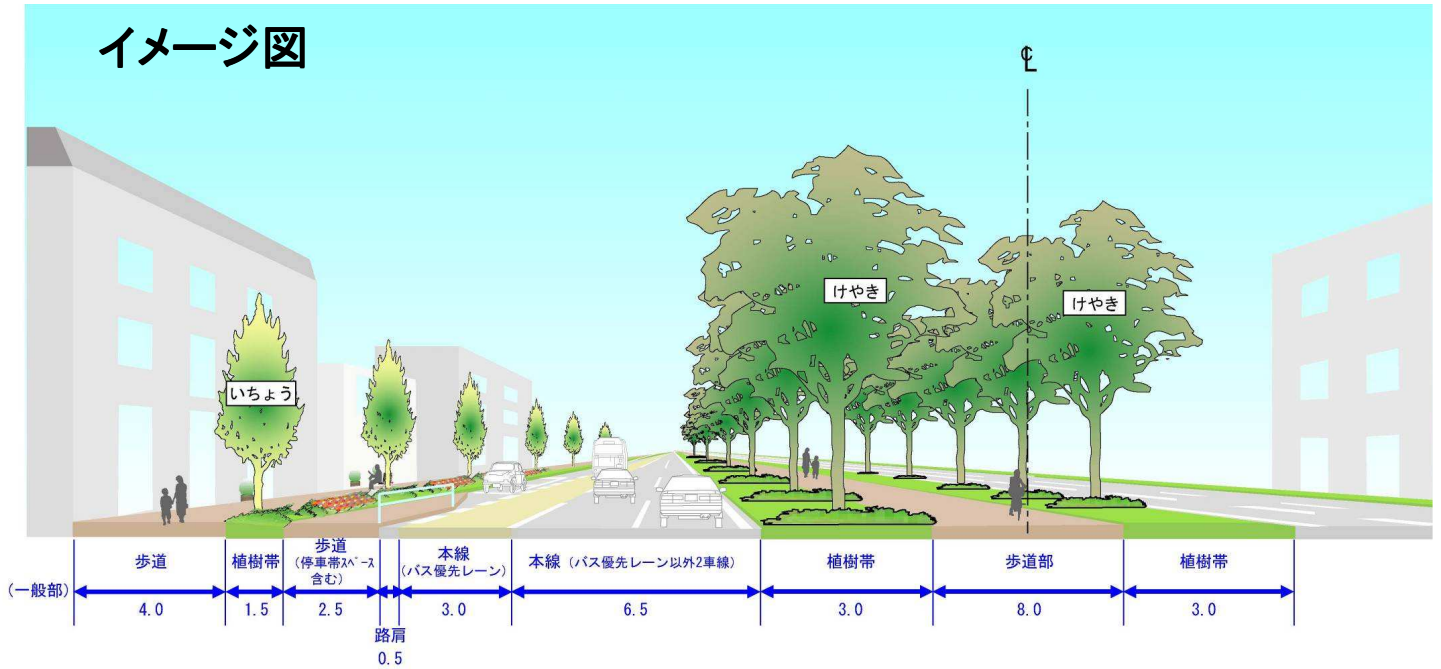
デメリット

- ①街路樹(けやき)等の撤去・移植が必要
- ②自転車道の設置スペースが無く、自転車と歩行者を分離するスペースが確保できない。

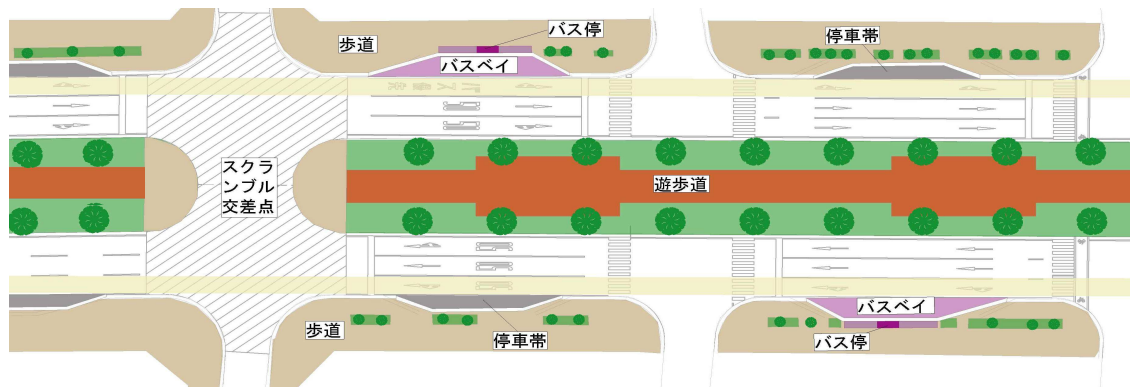
代替案2案

道路中央部に植樹帯と遊歩道を設ける案

イメージ図



平面図



メリット

- ①通り中央部への遊歩道の設置により、イベントへの有効利用可能な憩い空間の創出
- ②交差点での交通事故防止（横断距離の短縮・側道の廃止）

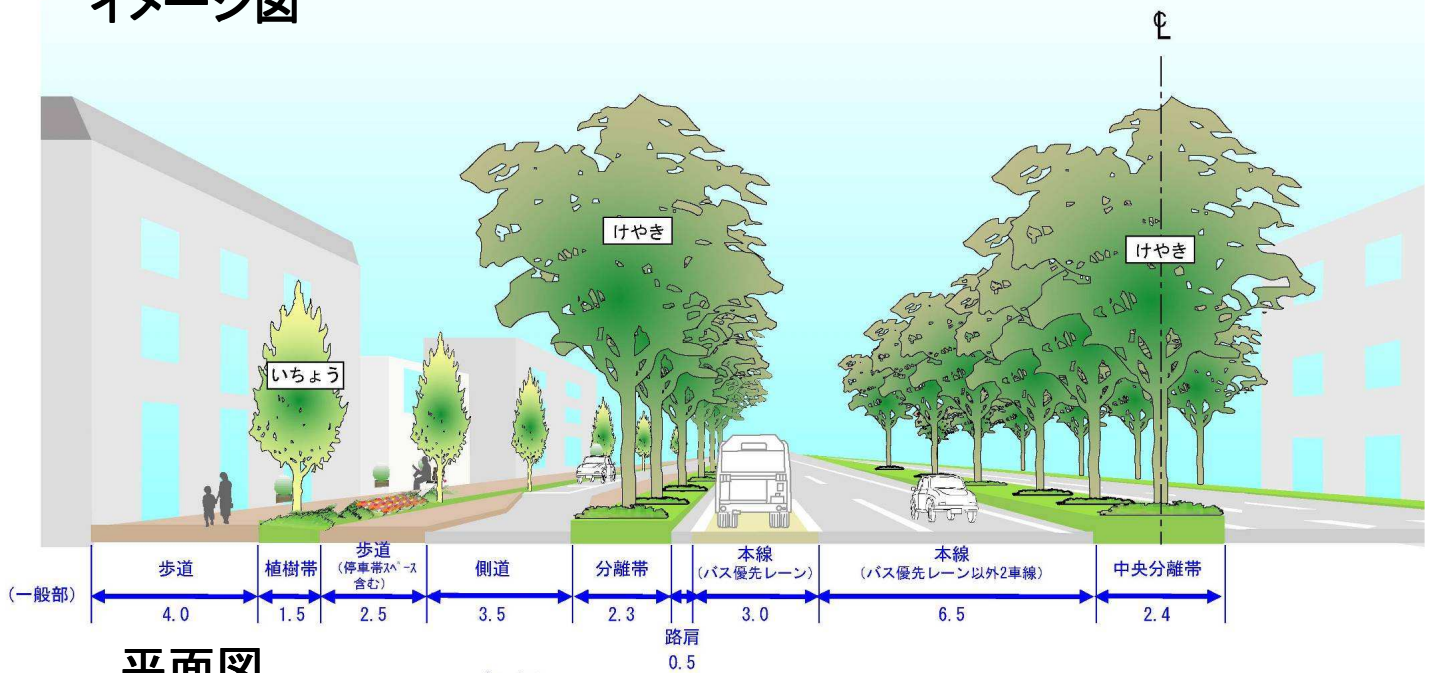
デメリット

- ①通り中央部に遊歩道の連続性を確保するため、一部交差点において、交差道路の横断が遮断される。
- ②本線と側道の間、街路樹(けやき)の撤去・移植が必要
- ③歩行者と自転車の分離ができない

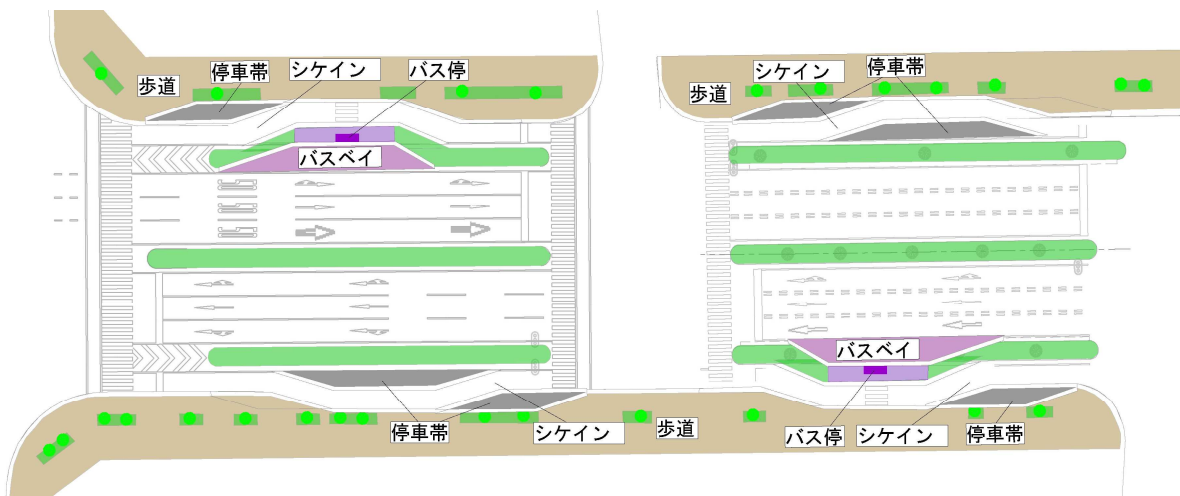
代替案3案

側道を狭め、駐車スペースと歩道にする案

イメージ図



平面図



メリット

- ① けやきの保全が可能
- ② 側道を利用し、自転車歩行者を分離

デメリット

- ① 歩道においてイベントへの有効利用可能な空間が少ない
- ② 交通事故防止のため、交差点での別途対策が必要

けやき大通りの現状

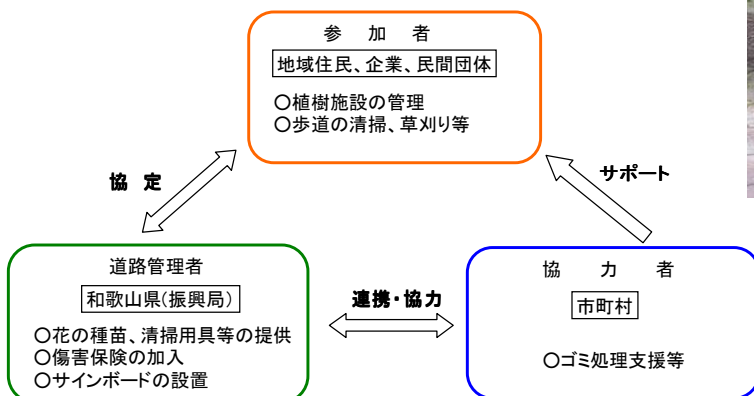
側道・歩道の現状



歩道を利用したイベント
(わぁーと！手づくり市場)

道路施設等の維持管理 (道路パートナー)

地域住民・企業・民間団体と県が
ともに県管理道路の維持管理を
担っていく制度です。



参加者に維持管理されている植樹